

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 紀美野町

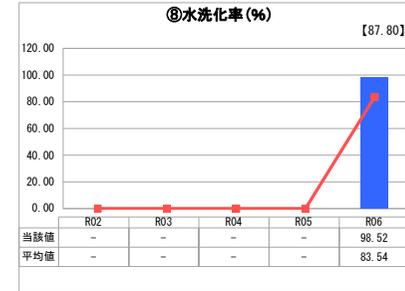
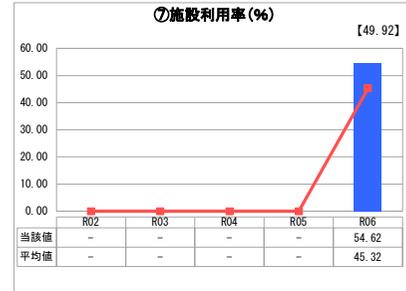
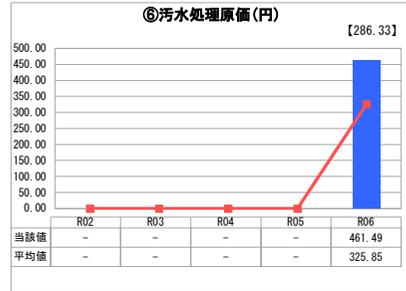
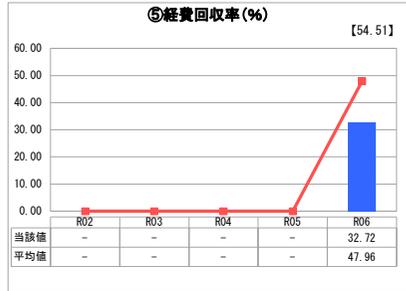
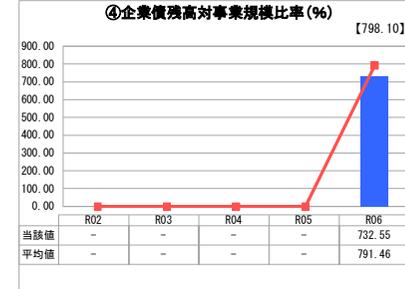
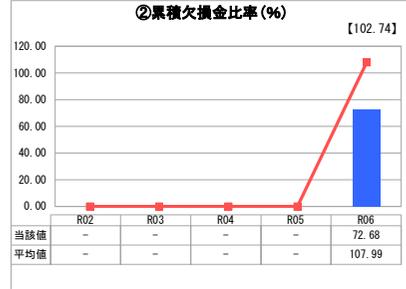
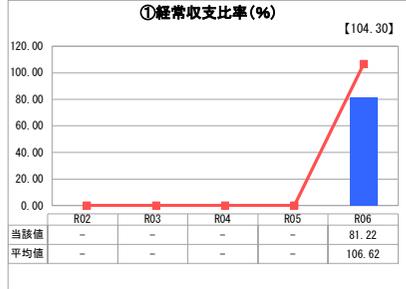
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	79.85	6.18	100.00	3,950

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
7,711	128.34	60.08
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
472	0.15	3,146.67

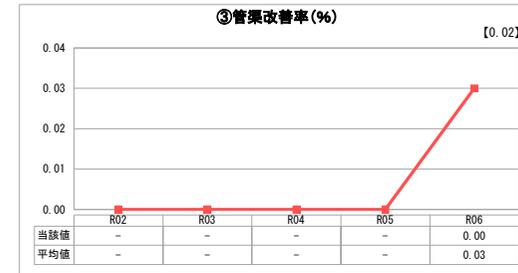
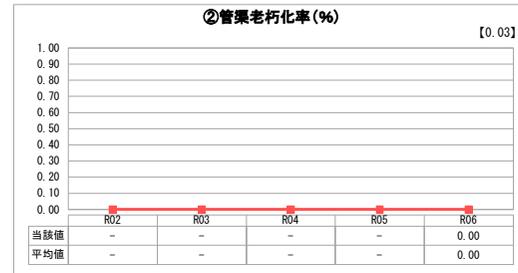
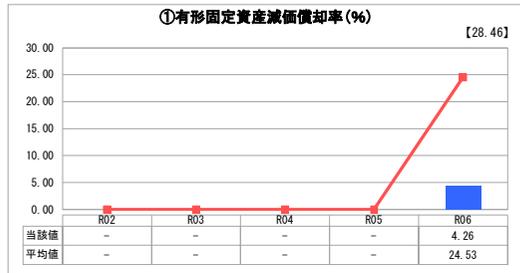
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は81.22%で100%に満たない額となっているが、経常支出に占める減価償却費の額が大きく資産価値の減少によるものである。いかにして利益剰余金を増やしていくかが今後の課題である。また累積欠損金比率についても同様の理由によるもので、全国平均より低いものの0%を目指していく必要がある。

流動比率については全国平均より高い水準にあるが、より安定した経営のため100%を目標とする。

企業債残高対事業規模比率は超償償還による地方債現在高合計の減少に伴い比率がいったん減少したものの、令和3～5年度に実施した機能強化工事及び令和6年度の公営企業法適用に伴う移行業務により起債借入れを行う為、今後、比率は増加するものと予想される。

経費回収率は32.72%と使用料収入に比べ汚水処理費が高い状況となっている。緩やかな人口減少と物価高による影響が大きい。汚水処理原価についても、年間総処理水量に大きな変化はないため同様の理由により増額となっている。

施設利用率の増減については、処理水量の増減によるものである。

水洗化率については、変動はない。

2. 老朽化の状況について

供用開始から30年が経過し、施設及び機械、電気設備の数箇所到老朽化及び劣化が見受けられる。また管渠の耐用年数は20年近く残っているが、不明水の流入があるため、適宜見直ししていく必要がある。

全体総括

令和3～5年度において行われた機能強化工事、令和6年度の公営企業法適用に伴う移行業務、これらに係る企業債残高の増加、また施設老朽化による修繕費用が必要になるため、一般会計からの繰入の増加が懸念される。

今後については、令和7年度に経営戦略の見直しを行い中長期の計画を見直す。施設管理については、維持管理適正化計画を作成し施設の最適化を目指す。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。